



食の“稼ぐ力”ビジネスの創発支援プログラム「Hiroshima FOOD BATON」

福屋広島駅前店にてウェルビーイング野菜の常設販売がスタート！

《販売イベント 日時：10月30日（木）10:30～13:00 場所：福屋広島駅前店地下食品売場》

広島県では、令和4年度から、農水産事業者と多様な業種の企業が連携し、新たな「食」のビジネスを創発して農水産事業者の「稼ぐ力」を高めることを目的とした「Hiroshima FOOD BATON」（食のイノベーション推進事業）を進めています。

令和6年度の採択プロジェクト「ウェルビーイング野菜プロジェクト」では、株式会社ユウゲンが従来の流通価値基準にとらわれず、健康によく、美味しく、環境にも配慮した「ウェルビーイング野菜」を認証し流通させることで、持続可能な農業の実現を目指しています。

この度、福屋広島駅前店地下食品売場にて、「ウェルビーイング野菜」の常設販売が令和7年10月29日から開始されるにあたり、当プロジェクトの代表 さいねい龍二氏が店頭に立ち、来店者に直接商品の魅力をお伝えする「ウェルビーイング野菜」販売会を実施しますので、ご案内いたします。

「Hiroshima FOOD BATON」は、広島の食の魅力を「ビジネス」に結び付ける取組であり、「広島は美味しさの宝庫である」というブランドイメージの構築にも貢献するものです。是非取材をお願いします。

「ウェルビーイング野菜」販売会の概要

1 日時： 令和7年10月30日（木） 10:30～13:00

2 場所： 福屋広島駅前店 地下1階食品売場

3 内容：

- ・「ウェルビーイング野菜」の販売
- ・さいねい龍二氏による「ウェルビーイング野菜」の説明、接客販売

4 販売予定の主な品目（生産者）：

カリノーケル（山元農園・RABI）、大玉トマト（株式会社アグライズ）、ミディトマト（有限会社グリーンファーム沖美）、チンゲン菜（山元農園）、パクチー（安芸せのファーム）ホワイ小松菜（筒賀にじいろ農園）、ミニトマト、キャベツ（さいねい農園）など



販売会イメージ

「ウェルビーイング野菜」とは



- ・野菜の成分等を分析し、硝酸イオンが一定の基準内の野菜を「ウェルビーイング野菜」として認証します。
- ・食べる人・作る人・地域すべてが幸福になる“ウェルビーイング”な食の循環を目指し、広島県内の農家とともに取り組む野菜ブランドです。

特設サイト：<https://well-being-vegetables.jp/>



「Hiroshima FOOD BATON」(食のイノベーション推進事業)とは



農水産事業者と多様な業種の企業の皆様が連携し、新商品やサービスの提供など、新たなビジネスの創発を進めることにより、農水産事業者の稼ぐ力を高める取組です。

専用サイト:<https://foodbaton.hiroshima-ouen.com/>



「おいしい！広島プロジェクト」とは



おいしい！広島プロジェクトは、「ひろしまは美味しさの宝庫である」というブランドイメージの向上を目指し、広島ならではの多彩な食の魅力を磨き発信していくことで、広島の食文化の発展的継承につなげていく取組です。



本プロジェクトの一環として、首都圏等の県外顧客にひろしまの食資産・食体験の認知を広げ、広島県内の盛り上げりを”更に”高めることを目指し、「OK!!広島プロジェクト」を展開しています。

<https://oishii.hiroshimakensan.org/>



<連絡先>

■ウェルビーイング野菜に関すること

株式会社ユウゲン 載寧 龍二 【080-4298-2391、zaqwer2391@gmail.com】

■食のイノベーション推進事業(Hiroshima FOOD BATON)に関すること

広島県農林水産局販売・連携推進課 課長 諫山 俊之 【082-513-3582】